

# 市民参加事業について (第10回総合計画審議会用資料)

# 1 市民参加事業について

## 【既に実施済みの事業】

	事業名	実施時期	概要
1	市民アンケート	平成29年10月	市民(3,000人)を無作為により抽出し、アンケートを実施
2	大学生アンケート	" 年10月	市と包括連携協定を締結している8大学の学生(1,500人程度)を対象に、アンケートを実施
3	中高生アンケート	平成30年 1月	若者ジュニア市政モニター(400人程度)の中高生を対象に、アンケートを実施
4	シンポジウム	" 年 7月27日	「未来のさがみはら」について市民とともに考える機会として、基調講演やパネルディスカッションを実施
5	市政を語る会 (働く若者)	" 年 8月 7日	「ずっと住みたくなるまちづくり」をテーマに、結婚、出産、住宅購入などの人生の転換期を迎える世代である「働く若者」と意見交換を実施
6	外国人市民との 意見交換会	" 年 8月10日	「誰もが住みやすいさがみはらとなるために」をテーマに外国人市民との意見交換を実施

## 【既に実施済みの事業】

	事業名	実施時期	概要
7	区民討議会	平成30年 8月18日、 19日	市民(4,000人)を無作為により抽出し、応募のあった者で(定員各区30人)2日間に渡り、まちづくり全般に関するワークショップを実施
8	まちづくり会議	" 年 5月~11月	各地区まちづくり会議において、地域別計画の進捗状況の確認をするとともに、各地区の課題と対応方策について検討する
9	市政を語る会 (子育て世代)	" 年10月24日	「安心して子どもを産み育てられるまちづくり」をテーマに、「未就学の児童を持つ親等」と意見交換
10	働く女性を応援する 企業との懇話会	" 年10月30日	女性をもっとかがやくまちを目指し、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業との懇話会を開催する
11	大学生等による フィールドワーク	" 年6月~11月	市内大学の大学生が主体となり、まちづくりに関する様々なテーマについて、関連する企業やNPO法人、施設等を訪問し、フィールドワーク(野外活動)を実施する

## 【既に実施済みの事業】（その他の取組）

	事業名	実施時期	概要
1	若手職員ワークショップ	平成30年 6月13日	採用2年目から6年目の職員を対象に、総合計画の概要、相模原市の現状について研修をした後、総合計画に関するワークショップを開催

## 【実施中、今後実施する事業】

	事業名	実施時期	概要
1	パブリックコメント	" 年2月 (基本構想) " 年11月 (基本計画)	基本構想と基本計画について、趣旨、目的、内容等を公表し、広く市民等から意見及び情報を求める(オープンハウス等の活用も検討する)



## 2 実施報告

### 【大学生等によるフィールドワーク】

#### 開催日時

フィールドワーク 平成30年6月～11月  
成果発表会 平成30年11月18日 13時半～16時

#### 成果発表会場所

相模女子大学  
夢をかなえるセンター

#### 目的

次期総合計画の策定に当たり、若者ならではの新たな市の施策等のアイデアの提案や、若者が本市のことを知ってもらうことによる市への愛着、定住意識の醸成を図ることを目的とする。

#### 実施者

「さがまち学生Club」に所属する大学生20名

#### 成果発表会参加者

78名

#### 内容

- ・大学生チームが主体となり、市が設定した複数のテーマに基づくフィールドワークを実施する。
- ・テーマは、「緑区観光施策」、「公共施設施策」、「ICT施策」、「子育て施策」とする。
- ・フィールドワークの結果に基づき、将来の市のまちづくりに対する新たなアイデアや提案等を大学生チームから発表してもらい、次期総合計画策定の参考とする。

#### 成果

- ・「緑区観光施策」、「公共施設施策」、「ICT施策」、「子育て施策」それぞれのテーマにおいて、若者ならではの発想で、施策が提案された
- ・参加大学生に本市のことを知ってもらうことにより、市への愛着、市政への関心を高めることができた